



Kayanak (カヤナック)

HABA (HABA)

1999年

訳者：おばれい

## ▼概要

カヤナックの舞台は北極、氷原に穴を開けて下にいる魚を釣り上げるゲームです。

## ▼コンポーネント

このゲームに含まれるコンポーネントは以下の通りです。

ゲームボード	: 1枚
釣竿	: 1本
プレイヤーコマ	: 4個
大きな銀玉	: 15個
小さな銀玉	: 75個
木製の器	: 4個
ダイス (白)	: 1個
ダイス (青)	: 1個
水滴チップ	: 5個
結晶チップ	: 8個

## ▼ゲームの目的

他のプレイヤーと釣りによって多くの魚を釣り上げることを競います。

魚には大きさが2種類あり、大きいと得点が高いです。得点が高いプレイヤーが勝利となります。

## ▼ゲームの準備

このゲームは商品の箱を使って遊びます。中のものを出して空っぽにしてください。ここが海の中です。海の中に魚を入れましょう。魚(大小の銀球)を箱の中に散らします。次に海の表面を氷で覆います。大きいゲーム盤をおき、その上に紙(A4サイズ)を置いてさらに小さいゲーム盤を重ねます。そして箱をゆっくりと傾けて、金属球が箱の底の窪みに散るようにします。これで、準備が完了しました。

## ▼ゲームのバリエーション

このゲームには、難易度別に3種のルールが用意されています。  
プレイヤーにあわせて選んでください。

1. ルール1 対象年齢：幼児～
2. ルール2 対象年齢：10歳～
3. ルール3 対象年齢：6歳～

## ▼ルール1の遊び方

### <準備>

- 各プレイヤーは、獲物を入れるカゴを1つ受け取ります。
- 使用するダイスは白ダイスのみです。絵柄は無視し、ドットのみ使用します。

### <遊び方>

1. 手番プレイヤーは白ダイスを振り、出たドットの数だけ、穴を空け、釣り糸を垂らし、釣りを行えます。
2. 穴に釣り糸を垂らすと先端の磁石部分に銀玉がくっつきます。
3. それをゆっくりと引き上げるにより釣ることができます。

### <ゲームの終了>

- すべての穴が空けられたらゲーム終了となり、点数を計算します。
- 小さい玉は**1点**、大きい玉は**2点**です。
- 点数が一番高いプレイヤーが勝利となります。

## ▼ルール2の遊び方

### <準備>

- 各プレイヤーは、同じ色の獲物を入れるカゴとプレイヤーコマを1つずつ受け取ります。
- 使用するダイスは白ダイスと青ダイスです。
- 白ダイスは、プレイヤーの行動を示すものです。
- 青ダイスは、気温の変化を示すものです。
- どちらのダイスにもドットが描かれていますが、これは白ダイスで示した行動を何回行うかを示しています。
- ゲームボードには氷の表面が描かれており、いくつものエリアに分かれています。1つ1つのエリアを氷原と呼びます。
- このゲームは手番を順番に回すため、プレイする順番を決めます。
- 決まったならばその順番に従い、各プレイヤーはどこかの穴へプレイヤーコマを置きます。
- ただし、他のプレイヤーがコマを置いた氷原には置けません。

## <遊び方>

手番プレイヤーはダイスを同時に2つ振ります。白ダイスに出た行動は何を示していますか？

### イヌイットの顔

自分のコマを移動します。両ダイスのドットの合計分、穴をマスと考え、穴の上を移動します。空いた穴の上も通れますし、空いた穴の上で止まることも出来ます。ただし、下記は通ることも止まることも出来ません。

- ・他の名人が立っている穴
- ・溶け始めている氷原の穴全て(後述)

移動するときは、何度でも向きを変えても構いません。

### ピッケル

氷に穴を空けましょう。釣竿の尖っている方を使い、両ダイスのドットの合計した数だけ穴を開けることができます。ただし、開けることのできるのは自分の釣り名人に隣接する穴だけです。隣接していれば隣の氷原に含まれる穴でもかまいません。隣接していても他の名人が立っている穴はダメです。

### 魚

さあ、いよいよ魚が釣れます。両ダイスのドットの合計した回数、魚を釣ることができます。ただし、釣ることができる穴はすでに氷が破られている(紙に穴が開いている)穴、かつ自分の釣り名人に隣接する穴だけです。また、他の名人が立っている穴もダメですし、氷のチップで覆われた穴もダメです。ですので、ドットの合計回数分釣りが出来ない場合もあります。

### ?

何をするかを自分で選択できます。両ダイスに出ているドットの合計した数分の行動ができます。また複数の行動を組み合わすこともできます。例えばドットの合計数が5とすると、1つ移動して2つの穴を開け2回釣りをすることができます。

青いダイスで「水滴」か「雪の結晶」が出たら、白いダイスで決まる行動とは別に、次のことができます。これは白いダイスの行動をした後でも良いし、する前でも良いです。

### 水滴マーク

水滴マーク気温が上がって氷が溶けはじめます。どこか1つの氷原を選び、氷の溶解を表す**“水滴チップ”**をその氷原の中に置きます(穴をふさがないように置きます)。ただし、すでに誰かが立っている氷原は溶かすことはできません。チップの置かれた氷原には誰も入ることはできません。しかし隣の氷原に立って、この氷原に穴を開けたり魚を釣ったりすることはできます。このマークが出た時に、氷の溶解チップを置く(氷原を溶かす)かわりに、すでに置かれている氷の溶解チップを取り除く(再び氷原を凍らせる)こともできます。こうするとその氷原には再び立ち入ることもできるようになります。

## 雪の結晶マーク

雪の結晶マークは、すでに破られている氷を1ヶ所だけ再び凍らせてふさぐことができます。結晶チップを破られている穴の上においてその穴をふさぎます。この穴は白いダイスでピッケルが出て開けることはできませんし、魚を釣ることもできません。ただし、この上を移動することができますし、立ち止まることもできます。このマークが出た時に、結晶チップを置く(穴を再び凍らせる)かわりに、すでに置かれている結晶チップを取り除く(再び穴を開ける)こともできます。水滴チップと結晶チップを同じ氷原の中で使うことができます。つまり、水滴チップの置かれた氷原の穴を結晶チップでふさぐことができます。

## <ゲームの終了>

全ての氷原に穴が開けられたら(=氷の破られていない氷原がなくなったら)ゲーム終了です。点数を計算します。小さい玉は1点、大きい玉は2点です。点数が一番高いプレイヤーが勝利となります。

## ▼ルール3の遊び方

ルール2と同じようにしますが、水滴チップと結晶チップは使わずにゲームします。つまり青いダイスはドットの数のみ使います。ゲームは釣り名人が移動し、氷に穴を開け、魚を釣るという動きだけで楽しめますので、ルールが簡単になり小さな子供でも遊べます。また得点も大小とも1点とすると数えやすくなります。